

# 人間の経済

第2期 第 **12** 号 (通巻90号) 2005年4月11日刊

## 目次

週刊マーケットレター(05年4月11日週号)

主要マーケット指標

株価下落のシグナル、3月末の株価 20ヵ月ぶりの前年割れ

2月の機械受注、底堅いが主力業種はピークアウト

曾我 純

ワット、時を歩む - iワット券発券の実際 -

森野 榮一

[コラム]

松山を仕立てる

森野 榮一



# 週刊マーケットレター（05年4月11日週号）

2005年4月10日

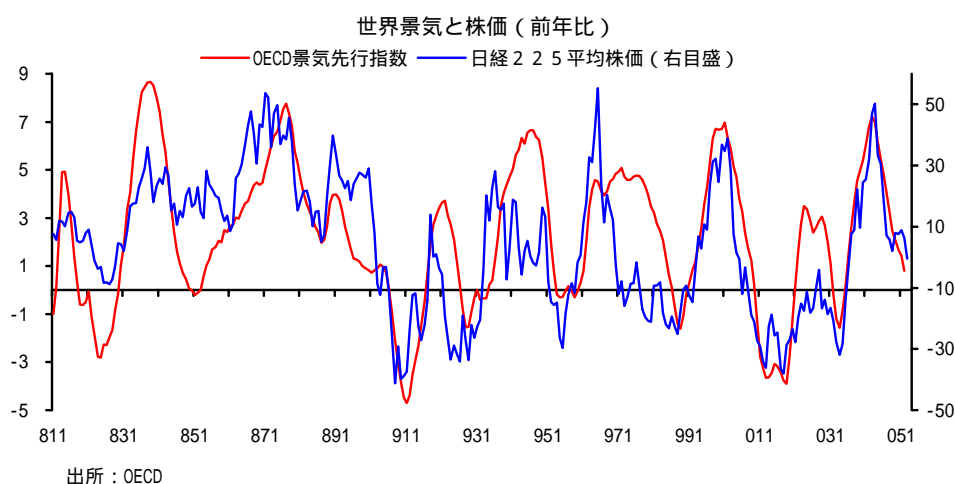
曾我 純 jsg@syd.odn.ne.jp

## 主要マーケット指標

為替レート	4月8日（前週）	1ヵ月前	3ヵ月前
円ドル	108.30(107.55)	104.70	104.75
ドルユーロ	1.2930(1.2915)	1.3345	1.3055
ドルポンド	1.8855(1.8810)	1.9290	1.8675
スイスフランドル	1.1985(1.2035)	1.1615	1.1855
<b>短期金利（3ヵ月）</b>			
日本	0.05375(0.05438)	0.05125	0.05438
米国	3.13000(3.12000)	2.97000	2.61000
ユーロ	2.14125(2.14338)	2.13456	2.14638
スイス	0.77667(0.77000)	0.75000	0.73000
<b>長期金利（10年債）</b>			
日本	1.360(1.335)	1.495	1.405
米国	4.47(4.45)	4.39	4.26
英国	4.68(4.73)	4.84	4.51
ドイツ	3.56(3.60)	3.70	3.61
<b>株 式</b>			
日経平均株価	11874.75(11723.63)	11886.91	11433.24
TOPIX	1201.30(1186.50)	1195.39	1145.76
NY ダウ	10461.34(10404.30)	10912.62	10603.96
S&P500	1181.20(1172.92)	1219.43	1186.19
ナスダック	1999.35(1984.81)	2073.55	2088.61
FTSE100（英）	4983.60(4914.0)	5010.9	4854.1
DAX（独）	4400.68(4373.53)	4396.50	4316.40
<b>商品市況（先物）</b>			
CRB 指数	304.32(311.88)	312.65	278.86
原油（WTI、ドル/バレル）	53.32(57.27)	54.59	45.43
金（ドル/トロイオンス）	426.9(425.9)	440.3	418.9

## 株価下落のシグナル、3月末の株価20ヵ月ぶりの前年割れ

日経平均株価は昨年末以降、11,000円台の狭い範囲内の動きにとどまっているが、3月末値は前年をやや下回った。月末ベースの前年割れは03年7月以来20ヵ月ぶりであり、過去のデータに基づくならば、いったん株価が前年水準を下回ると、前年割れは長期化するのが普通である。前回ITバブル後の調整では、00年2月に前年比伸び率のピークをつけてから、4ヵ月目に前年を下回ったが、減少率の最大は前年割れから15ヵ月経過した01



年9月であった。今回、前年比増加率がピークに達したのは昨年4月（+50.2%）であり、ピークをつけてから11ヵ月後にマイナスに転じたことになる。従来、最大の伸びを記録してから半年前後にマイナスに転換するのが一般的だが、今回はプラス期間が長く、株価がそれだけ底堅く推移していたといえる。だが、3月末にマイナスに転じたことは、株式相場が下げの局面に入ったことを示唆したと読み取れる。減少率の期間と幅は景気次第であり、景気後退が深く長期化すれば、株式の下げも大きくなる一方、景気後退が浅く短期で拡大に向う観測が強まれば、株式相場の調整も深刻なものにはならないはずである。

OECD景気先行指数は過去数ヵ月、ほぼ横ばい状態であり、世界景気の勢いは弱くなっているといっていいただろう。2月の前年比伸び率は+0.8%と昨年3月をピークに11ヵ月連続の低下となった。チャートによると、日経平均株価はOECD景気先行指数に沿った動きをしており、しばらくはOECD景気先行指数の下げの影響を受ける見通しである。世界経済のエンジンである米国経済の勢いが鈍りつつあることに加えて、主力のドイツ経済の不振からEU経済も冴えない。米国やEUに比べてもともと勢いが弱い日本の先行指数は2月、前年を下回った。

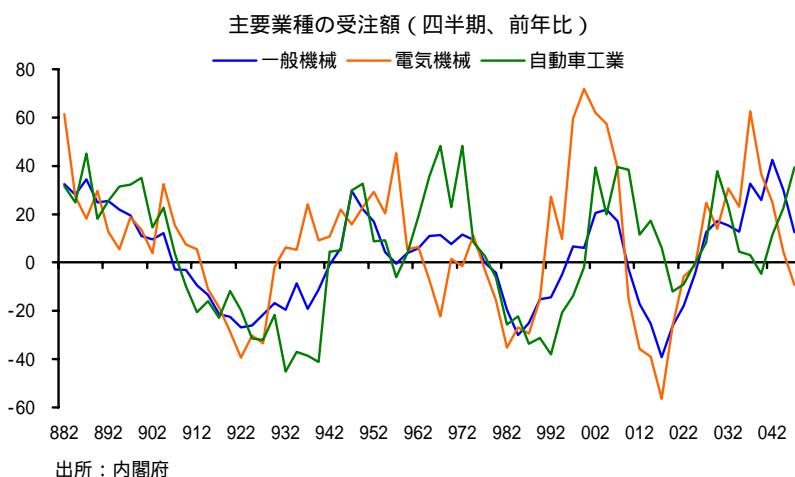
景気など気に掛けない個人の買いによって、日経平均株価はやっと値を保っているが、「ナイフの刃」の上のような危うい綱渡りをしているようなものだ。世界景気の勢いが弱くなっているときに、株式に手を出すのは株式投資の基本から逸脱した行為である。外人は4月1日週、16週ぶりに日本株を売り越した。米国株式の上値が重く運用益が上がらな

いことが、日本株投資を手控えさせている背景である。

ネット取引が主流を占める個人はいつでも売却できるという気安さから株式取引に熱中しているが、株価が値下がりすると、短期売買でも売却損が膨らんでいく。その過程で信用の投げも発生し、値段がなかなかつかないような銘柄もでてくることになる。株式売買手数料が安くなったとはいえ、売買回数が増えれば、負担額は大きくなり、証券会社が儲かり、税収に貢献するだけのことである。売買を頻繁に繰り返しても、儲けることは至難の業だということを、昨年以降の相場で経験したはずだ。景気循環を蔑ろにした株式取引は、実体経済に追随する形で株価が下落し、損失が拡大することを忘れてはならない。

## 2月の機械受注、底堅いが主力業種はピークアウト

2月の『機械受注』によると、民需（船舶・電力を除く）は前年比 7.2%増と2ヵ月連続のプラスとなり、昨年10-12月期の+1.1%よりは回復している。外需や官公需等を加えた受注総額は-0.2%と2ヵ月連続のマイナスとなり、第1四半期は昨年10-12月期を下回りそう



だ。製造業は昨年10-12月期並みの伸びだが、通信業の回復により、非製造業がプラスに転じたことが民需を引き上げている。

主力の電気機械はマイナス幅が縮小し

たが、減少傾向が止まったと断言するには早計である。過去の動きをみても、マイナスに転じ後、すぐに回復したケースは見当たらないからだ。一般機械の前年比プラスは9四半期と長期化しており、さらに伸びが上昇するとは考えにくい。昨年10-12月期の自動車は前年比 39.4%増加しており、過去のピークと比較しても、さらに拡大する余地は乏しいのではないかと。

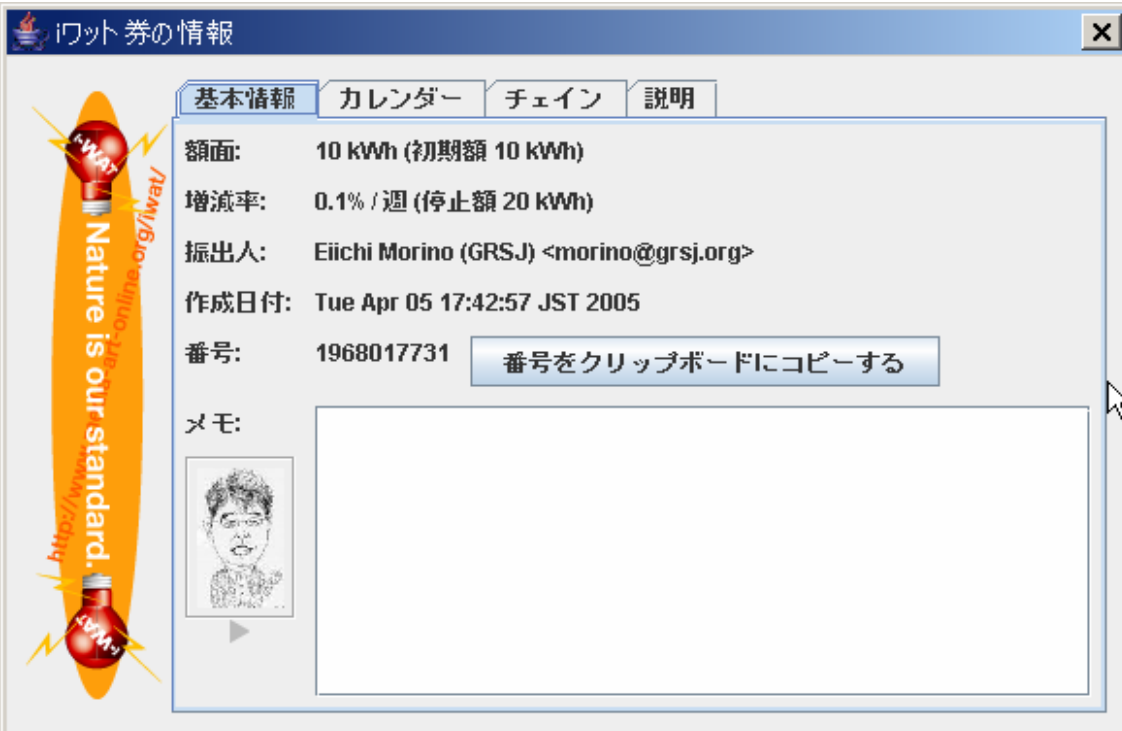
機械受注の民需（船舶・電力を除く）は民間設備投資に先行するといわれているが、99年頃からは先行性が認められなくなり、ほぼ同じ動きをしている。2月まで民需がプラスになっていることから、1-3月期の民間設備投資はプラスを維持できそうだが、民間設備投資のプラス期間は03年4-6月期以降、7四半期連続と長期化しており、循環的にも減速する時期ではないだろうか。

## ワット、時を歩む - iワット券発券の実際 -

森野 榮一

ワットは増減価型の導入で、互助、相互支援、同等者の修睦協和に新しい次元を切り開きました。

例えば、私は今日、このような増価型ワットを振り出しました。



基本情報	カレンダー	チェイン	説明
額面:	10 kWh (初期額 10 kWh)		
増減率:	0.1% / 週 (停止額 20 kWh)		
振出人:	Eiichi Morino (GRSJ) <morino@grsj.org>		
作成日付:	Tue Apr 05 17:42:57 JST 2005		
番号:	1968017731	<input type="button" value="番号をクリップボードにコピーする"/>	
メモ:			

これは10ワット額面で、毎週0.1%で増価し、20ワットの停止額まで増価しつづけるものです。

私は支払先に只今は10ワットを支払い、増加分を未来のなかにおかせてもらったわけです。このワット券が増価を止めて二倍の20ワットになるのは2025年です(!)。そのとき私は75歳を迎えます。

この発券によって私は75まで元気で生き抜くのだと決意させていただいたともいえます。

まあ、人によれば、お前なんぞ、明日、脳溢血でヨイヨイになるやもしれず、75まで生きようなんざあ、太い考えだと言うひともいるでしょう。おれなら、そんなお前の約束など信じないから、いま20ワットよこせと。

そういう人は只今の刹那がすべてですね。しかし、私の増価型ワットを受け取ってくださった方がいるわけです。明日をも知れぬ我らが命、その遠い約束を受領してく

ださったわけです。つまり、取引相手との信頼のなかで、遠い未来まで共有することとなり、私の只今に未来を置くことができたわけです。受け入れた人は、私の2025年までの未来が途中で絶たれたとき、私の債務を引き継がなければなりません。その人が支払いに使用すれば、代価として受け入れた人も、私の未来に繋がります。

私たちはどのようにして、時を生きていくのでしょうか、人との約束のなかで未来を生きるのでしょうか。増減価型ワットは、未来を共有する手段として、私たちの生活のなかに入ってきたのです。

### **ワットは時を歩んでいきます。**

たしかに、私がそろそろ危なそうだと考えたり、あるいは、保有者の事情から、増価していく途中で、つまり、最終額に到達する前に、私に清算請求がくることもあるでしょう。

しかし、いつそれがなされても、それまでの時間の経過のなかでは、裏書きのチェーンは、発券人である私を含め、関与者すべてが、私の約束を受け入れ、増価していく部分も含めたワット価額への責任を分かちもつことで、そのワット券が提供する時間軸のなかに共に入ったのです。なによりも、増価型ワットの受け入れの諾否は、発券者と彼に繋がる人々への共感です。彼らは未来を分かちもつわけです。

これが、増減価型ワットでは、通常の貨幣貸借では信じられないような長期の契約が負担感なく成立する事情の根底にあるわけです。

ここで、一見、増価することで、時間は通常の金融上の契約と似たもののよう受け取られるかもしれませんが、実は非常な対称性をみせることになります。住宅ローンのような、ひとを債務奴隷に陥す融資契約以外は、おおむね、貨幣を巡る貸借は短期のものが多くでしょう。消費者金融で30年も借り続けるなど、実際不可能ですから。しかし、ワットは長期主義者なのです。

増価型ワットは、将来のいつの時点でも時間の経過に伴い成立していく割増分を含めた、実物ベースでの清算約束です。これは貨幣と無縁に成立していますので、人を急かしません。関与者による信頼の連鎖がそれを成立させるので、貨幣に信用を吸い取られていないぶん、人の実質信用が尊重されるともいえます。

ワットの増価は金利による収奪とは根本的に異なります。それは関与者全員が将来手にして行くであろう増価なのです。なぜなら発券人が負う増価分は他の裏書人すべてへの贈与でありながら、裏書きの回数が多いほど、関与者全員に拡散する(社会化する)性質をもち、また発券人はそれが社会化すればするほど(チェーンが伸びるほど)、増価分の清算遅延の利益を得ていくわけです。また性急な清算請求は、増分の額は小さく請求人にその額面プラス増加分を他の人間への支払いに使わせる気を起こさせ、増加分は社会化されていきます。これは清算取引までの期間を長くさせる効果があり

ます。発券人が遠い未来に置かせてもらったワット債務の増価分は社会への贈与として時の経過のなかで成立していきながら、それが発券人自身に必要とする実物を得させるという発券時の利益をもたらしているわけです。それはまた、チェーンをなす裏書人たちの取引を容易にする(プレミアム分が成立していくゆえに、代価として受け入れられやすい)ことを通して取引を成立させていくわけです。ある人(発券者)の社会的な贈与の約束が時間の経過のなかで連続的に成立していくという性質によって他のメンバー全員に利益をもたらしていきながら、同時に発券者の債務自体も長期化されるなかで社会化されるともいえます。これが増価型ワットが長期の券として発券される理由です。プラスの金利のつく貨幣システムにおいて借入れをなすならば、債務奴隷となるかもしれぬ者がワット債務を建てることで、必要なモノを得ながら、同時に社会に貢献しつつ、社会に助けられる仕組みが増価型ワットといえるでしょう。

減価型ワットはちょうどこれと逆に同じ事情を成立させます。発券者のワット債務が減価することを貸付人は受け入れません。それは発券人へのシンパシーがまずありませんが、彼は恩着せがましくそれをなすのではありません。彼は入手した減価するワットが減価しますから、それをすぐに使いたいという動機を持ち、同じシンパシーを抱く人間への支払いに充て、それが必要な財やサービスを得ていきます。支払いを受ける人間も損をするわけではありません。その時点での額面で支払いを受けるからです。ですから、減価するからといって受領が拒否される心配はありません。ワット券の保有者にとって、すみやかに使用すれば減価分はわずかなものです。こうして減価分は、関与者たちが、快速の支払い手段として使用すればするほど、裏書人たちの軽微の負担となるかたちで、分かち持たれていきます。もちろん、彼らはそのことによって取引を実現できているのですから、利益を得ています。つまり、ここでは増価型の、「助ける人が助けられている」のとは逆の、「助けられる人が助けている」(サイトー・パラドックス)ということになります。

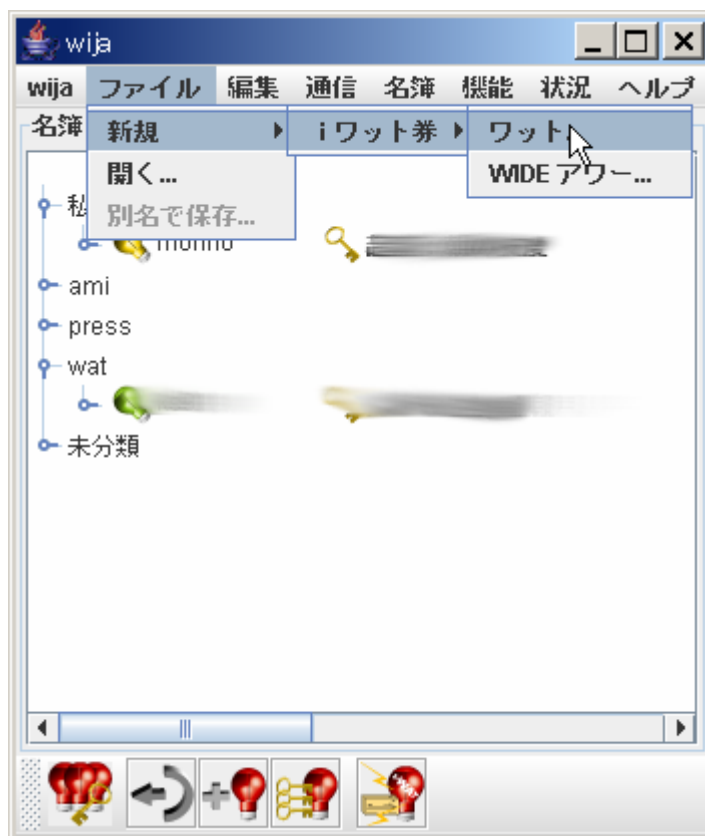
この両者とも、貨幣システムとは違ったかたちで、私たちに生きるべき時を提供します。ワットとともに、ワットによって時を歩もうではありませんか。それはじっくり歩む遠い道のりを私たちに提供するはずです。

その生成の実際をみてみましょう。

しかし、増減価型が登場したからといって、時間の経過で自己率を変化させない定常型ワットが無意味というわけではありません。私たちの取り結ぶ人間関係の濃淡によって、それは相変わらず選ばれる機会も多いでしょう。それが体験されるなかでもたらされる関わりが増減価型を使用する環境を私たちにもたらしてくれることになるでしょう。

## ・通常の定常型ワット券の場合

新発券を発行する場合、wija の主ウィンドウから生成するには



のように、「ファイル」「新規」「iワット券」「ワット」とたどりクリックすれば発券の画面が出てきます。

また、主ウィンドウ下部にある



をクリックして「iワット帳」を開いて作成する方法もあります。

処理	日付	送信者	但し書き	額面	単位	種別
<input type="checkbox"/>	2005/02/20 10:13	TOKOTA		1	kWh	受領
<input type="checkbox"/>	2005/03/10 11:38	YOKOTA		5	kWh	振出
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/03/10 11:38	Koichi Sato		5	kWh	承認
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/03/22 21:35	susumu takahashi		2	kWh	振出
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/03/22 21:35	susumu takahashi		2	kWh	承認
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/01 10:33	Koichi Sato		5	kWh	振出
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/01 10:33	Koichi Sato		5	kWh	承認
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/04 11:45	Kenji Sato	大体動 10000円...	10	kWh	振出
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/04 11:45	Kenji Sato		10	kWh	承認
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/05 18:26	Kenji Sato		10	kWh	受領
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/06 16:55	Kenji Sato		10	kWh	振出
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/06 16:55	Kenji Sato		10	kWh	承認

から、

処理	日付	送信者	但し書き	額面	単位	種別
<input type="checkbox"/>	2005/02/20 10:13	TOKOTA		1	kWh	受領
<input type="checkbox"/>	2005/03/10 11:38	YOKOTA		5	kWh	振出
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/03/10 11:38	Koichi Sato		5	kWh	承認
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/03/22 21:35	susumu takahashi		2	kWh	振出
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/03/22 21:35	susumu takahashi		2	kWh	承認
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/01 10:33	Koichi Sato		5	kWh	振出
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/01 10:33	Koichi Sato		5	kWh	承認
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/04 11:45	Kenji Sato		10	kWh	振出
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/04 11:45	Kenji Sato		10	kWh	承認
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/05 18:26	Kenji Sato		10	kWh	受領
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/06 16:55	Kenji Sato		10	kWh	振出
<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/06 16:55	Kenji Sato		10	kWh	承認

「iワット券」「新規」「ワット」とたどり、クリックすれば、  
発券画面が出てきます。

これですね。

「但し書き」では、発券する先のお相手だけに伝えられるメッセージを書くことができます。枠内をマウスでクリックすると、縦棒がちかちかして入力できる状態になりますね。

「貸付人」のところは、右端にある下向きの黒三角をクリックすると、あなたに何かを提供してくれた貸付人の一覧がでますので、そこから支払う先を選びます。その下には支払う当人であるあなたの名前が書いてありますね。

「額面」は当初、「10」になっています。10kWh ということです。額面の価額はここで変更できます。その下にスケールがありますね。そこにつまみがついていません。これです。



このつまみをマウスの左ボタンを押しながら、左右に動かすと額面価額を示す数字が変化しますね。振り出したいと考える金額に設定してください。右側にずらすほど数

字は大きくなります。

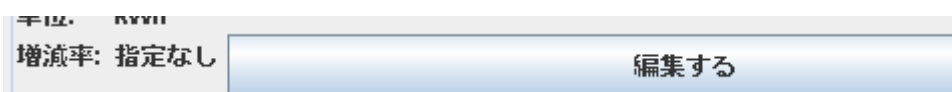
増加型や減価型でなく、額面価額が先行き変化しない定常型ワットを発券する場合は、増減率：指定なし、「編集する」のボタンは使いません。

「メモ」欄は、発券する自分が清算請求があった場合に、特に提供できるモノやサービスなどを書いておきます。自分や自社のPRでもいいでしょう。枠内をクリックすると入力できる状態になります。

「説明」は、ワット券の約定です。通常の額面価額が変化しないワット券は、これでOKです。後は、下にある「振り出す」というボタンを押せば、発券できます。

#### ・増・減価型にする場合

上掲の「新しいワット券」の画面のここに注目します。



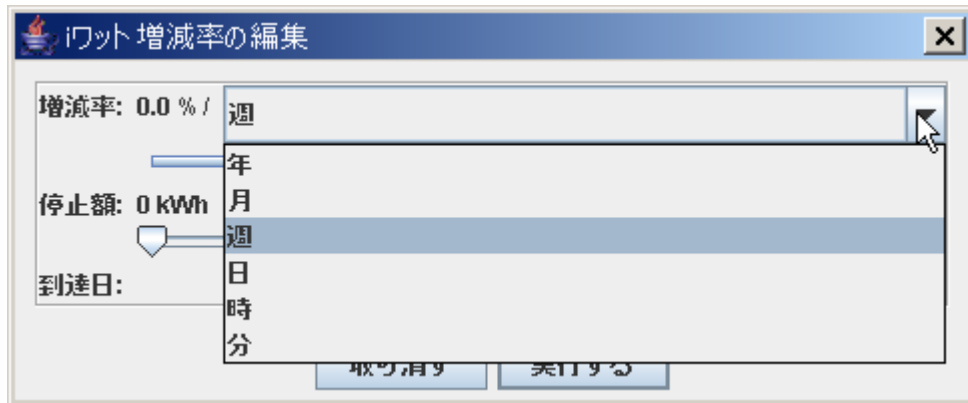
この編集するの部分をクリックします。  
こういう画面（「ワット増減率の編集」）が出ましたか。



増減率：0.0%/とありますね。ここでふたつのことを決めます。  
まず、どのくらいの期間ごとに増価したり減価したりするか、次ぎに増価したり減価したりする率です。

### <期間>

横に細長い四角い欄に「週」とありますね。これは1週間ごとに、変化することを指しています。その右よこに下向きの黒三角がありますね。これをクリックしてみてください。



これらの「年、月、週、日、時、分」はその期間の経過するごとに額面が変化する区間を示しているわけです。好みの区間をマウスでクリックして、ブルーハイライトにし（強調し）ます。

### <変化率>

その下にスケールが見えますね。いまは左右ちょうどまんなかにつまみがきています。ここが 0.0%です。左にずらせば、マイナス、つまり減価率となります。右にずらせばプラスの変化率となります。

### <停止額>

これは、いくらまで変化していくと停止させるかを決めます。同じようにスケールのつまみをマウスボタンを押しながら動かすことで設定します。

### <到達日>

上記を設定すると表示されます。

すべてOKであれば、「実行する」のボタンを押します。

これでOKです。「新しいワット券」の画面にいま設定した内容が反映されていますね。

「振り出す」を押せば、発券できます。

[コラム]

## 松山を仕立てる

森野 榮一

急に物事を仕立て、整備しなければならぬというときがあります。

もちろんじっくり仕立てる時間があればそれに越したことはありません。しかし往々そうしたことはまれでしょう。やはり人は急かされるものです。

かつて、大蔵永常は『広益國産考』で、松山を急に仕立てるにつき、こう述べていました。

世間にて並木のやうなる所を植添へするを見及び侍べるに、多く山より抜きとり来る二三尺位の苗松なり。是は野山同然の地或は松山を伐拂ひたる跡に萌（はへ）たるをこぎたるなり。此一二尺なる木は終始成長おくるゝ也。早く仕立んとならば、松に勢ひよく大松の如く葉も太く長く肥えたるに大きなる松毬（ちちり）[世間にてまつかさともいへり]是を取りて干置き、そつと澁紙の上に置き、竹切をもつて叩けば小さなる核落つるなり。是をとり春綿などつくるやうに、一行にあらくひねり蒔きにすべし。追々生出でたらば、間一尺程に間引き、別畑に其通り竝べうゑ、綿実粕か油粕かを粉にして、一本に手のゆびさきをそろへすくひ程づゝ根を一寸五六分除けて入れ、其後小便にても施しなば、其年の冬には壹尺五寸二尺にも伸びべし。寒國にて其冬斗り霜覆ひすべし。暖國にては其儘置き、翌春又初年の如く肥しをして育つれば、二年目の冬は五尺位になり、根もはり出づるなり。夫を春正二月中山にやりて植ゑ、其年厩肥にて一本に一つかみづゝ置けば、能く成長するものなり。最早夫より肥しを入るゝにおよばず、三四年程立ちなば、尺廻り餘の松山と成るなり。

並木などの植ゑたしは、右のごとく大松の實生へを植ゑなば、成長至つてはやし。

この話は特段、松並木を仕立てる場合に限らず示唆的に思えます。松並木を整備したい、そこで松の苗木を手当しますが、松林を伐採した跡に生える苗木を採ってきて植える、これは成長遅くてだめだということです。むしろ大きく育った松のまつかさから種をとり、これを育てたほうが早くまた立派に育つということです。

なにごとく急にかたちを整えたいとき、余所からある程度育った仕組みをいれようと思います。たいがいうまく成長しません。しかし、たいそううまく行っているところの、「核」を学び、それを自前で育てあげるとよいものに育ちます。急ぎ整えるときほど、心したいことです。

地域通貨などはこの典型でしょうか。よそからこいでくるようにして仕組みを入れる事例をみます。うまくいっている仕組みをそのまま我が町に移植しようと思います。しかし、ろくに育ちません。むしろ、その種、核となっているその気持ちをまず確たるものとして、

実の生えてくるを得て、肥やしを施し、場合によっては霜覆いをほどこし、育てていくと、それが結果的に成果をあげていくわけです。

編集・発行 **ゲゼル研究会**

221-0021 横浜市神奈川区子安通3-321森野榮一気付

Gesell Research Society Japan <http://grsj.org/> [info@grsj.org](mailto:info@grsj.org)

Gesell Research Society Japan all rights reserved 許可無く複製・再配布を禁ず